



# 関町小通信

令和元年11月1日  
練馬区立関町小学校  
学校だより 11月号

校長 加園 正子

先日の学校公開への御参会ありがとうございました。道徳の学習では保護者の方との意見交流を、セーフティ教室では「危険から自分で身を守ることの大切さ」について、各御家庭で話題にして頂いたことに感謝いたします。親子教室は、学校でお子さんと一緒に共通体験する機会を作り、各御家庭で様々なことを考え話題にさせていただききっかけ作りの場と考えています。

今年度は、これまでに道徳授業地区公開講座・外国語活動・万引き防止音楽劇・セーフティ教室の4回の親子教室を実施してきました。5回目の親子教室は、音楽教室（箏演奏）になります。対象学年は、4年生・6年生で土曜学校公開時に実施する予定です。御都合が合う保護者・地域の皆さんは子供達と一緒に箏演奏をお楽しみください。

また、9月に実施した運動会のアンケートには、子供達の頑張りへの称賛と感動のお言葉、教職員への温かい励ましのお言葉を多数いただきましたことにお礼申し上げますと共に、学芸会に向けた様々な御協力に感謝いたします。

## ◆◆◆学力向上を図るための調査結果◆◆◆

今年度の学力調査の結果をお知らせします。調査結果を分析し、全教員で授業改善プランを作成し、授業改善に取り組んでいます。以下は、学力調査の結果と傾向と対策です。

※数値（正答率）の左の記号は、◎：+5以上、○：+3～+5、（比較は、全て都平均との比較です）  
▲：-5以下、△：-3～-5、の際に記しています。

### 1 6年生 全国学力・学習状況調査 4月18日実施

#### (1) 国語

	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	国語全体
<b>本校</b>	<b>70.6%</b>	<b>57.0%</b>	<b>80.9%</b>	<b>55.1%</b>	<b>64.0%</b>
都	73.1%	55.4%	83.0%	55.7%	65.0%
国	72.3%	54.5%	81.7%	53.5%	63.8%

国語全体としては全国の平均を上回りましたが、都の平均には至りませんでした。観点別に見ると、「書く能力」では都や全国の平均を上回りました。しかし、「話す・聞く能力」「読む能力」では都や全国の平均を、「言語についての知識・理解・技能」では都の平均を下回りました。問題別では、特に「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む」や「目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む」、「話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解

を確認するための質問をする」や「目的に応じて、質問を工夫する」、「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる」や「ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる」問題につまずきが見られました。そのため、日常的な取り組みとしては、①語彙の量を増やすこと②語句のまとまりや関係、構成や変化について理解することを意識して指導に当たっていきます。また、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにします。

## (2) 算数

	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	算数全体
<b>本校</b>	<b>66.7%</b>	<b>79.4%</b>	<b>74.3%</b>	<b>71.0%</b>
都	65.5%	77.2%	72.7%	70.0%
国	62.2%	73.6%	70.1%	66.6%

全ての観点で、都・全国の平均を上回りました。特に「数量や図形についての技能」は平均を上回りました。しかし、問題別では、「台形について理解している」や「加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる」、「示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数や選び、計算しやすい式にして計算できる」や「示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる」や「場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる」問題につまずきが見られました。

そのことから「図形の理解」「四則混合計算の習熟」「計算の工夫」「文章題の読み取り」「計算結果を判断し、解答すること」にさらなる指導が必要と考えます。図形についての観察や構成の活動を重視し、平面図形の理解を図っていきます。また、四則混合計算では、計算の規則を確認、工夫に気づかせ習熟を図っていきます。問題解決の場面では「聞かれていること」を意識させ、解決の見通しを持たせながら定着を図っていきます。

## 2 5年生 児童・生徒の学力向上を図るための調査 7月5日実施

### (1) 国語

	話す・聞く	書く	言語	読む	国語全体
<b>本校</b>	<b>70.3%</b>	<b>69.8%</b>	<b>64.8%</b>	<b>70.3%</b>	<b>68.1%</b>
都	65.3%	70.4%	67.4%	67.4%	67.6%

### (2) 社会

	思考・判断・表現	技能	知識・理解	社会全体
<b>本校</b>	<b>69.3%</b>	<b>68.9%</b>	<b>74.8%</b>	<b>70.3%</b>
都	63.5%	66.8%	70.6%	66.7%

### (3) 算数

	思考・判断・表現	技能	知識・理解	算数全体
<b>本校</b>	<b>49.1%</b>	<b>67.3%</b>	<b>69.2%</b>	<b>62.2%</b>
都	47.2%	65.0%	67.6%	60.1%

(4) 理科

	思考・判断・表現	技能	知識・理解	理科全体
<b>本校</b>	<b>○57.5%</b>	<b>○70.5%</b>	<b>54.1%</b>	<b>58.8%</b>
都	53.0%	67.0%	55.0%	56.8%

- ◇ 国語全体として都の平均を上回りました。特に「話す・聞く」では都の平均を上回りました。しかし、「書く」「言語」では都の平均を下回りました。そのため、日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、日本の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにします。
- ◇ 社会全体として都の平均を大きく上回りました。観点別に見ても「思考・判断・表現」や「知識・理解」では都の平均を大きく上回りました。引き続き、社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養います。
- ◇ 算数全体として都の平均を上回りました。観点別に見た場合、全ての観点において都の平均を上回りました。引き続き、単元の導入においては興味・関心の持てる課題提示を工夫し課題解決の意欲を高めさせるとともに、既習内容とのつながりを意識させて見通しを持たせることを重視した指導に努めていきます。また、作図などの活動に際しては、分度器やコンパスなどを正確に用いた作図が一人一人に定着できるように指導していきます。
- ◇ 理科全体として都の平均を上回りました。観点別に見ても「思考・判断・表現」や「技能」では都の平均を上回りました。引き続き、自然事象に対する基本的な概念や性質・規則性の理解を図ります。

3 児童の意識調査（6年生質問紙から）

学校の決まりをしっかりと守れているという規範意識は97%「人の役に立ちたい」は98%「困っているときに進んで助けている」92%「いじめは、どんな理由があってもいけない」99%など、相手や周りへの思いやりの気持ちをしっかりと持っている児童が多い結果が出ました。学校の縦割り活動や低学年のお世話など異学年の児童からもそのやさしさと頼もしさに一目置かれている6年生の姿からも納得できる数値が出ました。また、「将来の夢や目標を持っている」89%「学校での出来事について家族と話をする」86%などからも家庭でいろいろな話ができる、相談ができる、安心した生活を過ごせている様子が見えます。

読書に関しては、「本が好き」と答えている児童の割合に比べて、図書館の利用や図書室の利用は低い結果が出ています。さらに新聞を週に1回以上読む習慣がある児童は15%、読まない66%という結果が出ています。ニュースなどについて考えを深めたり、家族の考えを知り合えたりすることは人間関係を深め合う上でも大事なことだと考えています。伝え合い話し合う教育活動を充実させていきたいと思えます。御家庭でも様々な機会にお子さんとの会話や対話の機会を作っていたらと思います。

**今年度の学力調査結果の分析を生かし、全校で授業改善に努めてまいります**